

レッドデータブックから③

安曇野の重要な自然環境

市の鳥類

市では、これまで約 250 種の鳥類が確認されています。海がないのにもかかわらず多くの鳥が確認されているのは、その環境の多様さにあります。標高 3,000 メートル級の北アルプス稜線にはライチョウ、山地には森林性の鳥、里地には草原性の鳥、田園地帯や湧水地帯には水鳥が生息しています。また春秋にはシギやチドリなど渡り途中の鳥が中継地として利用し、冬にはカモの仲間が冬を越すために飛来してきます。

このように安曇野には多くの鳥が生息しているのですが、実は多くの種が数を減らしてきており、中には絶滅の危機に瀕している種もあります。多くの人が名前を知っているウズラは、野生状態では 1970 年以降確実な記録がありません。また、ハクチョウが安曇野で越冬するようになったのは 1984 年からと、まだほんの 30 年足らずです。このように野鳥をとりまく環境は大きく変化しています。どうしてこれまで生息していた鳥がいなくなって、これまでいなかった鳥が生息するようになったのか、野鳥を通して安曇野の環境とその変化を考えてみませんか？

（野生生物資料情報室 植松晃岳さん）



オオタカ（タカ科）



畜産悪臭対策・三郷地域市民説明会

圃圃環境課環境保全係
 (TEL 82・3131 代 FAX 82・6622)

三郷地域で問題となっている畜産悪臭問題の現状と臭気対策などを説明します。

- 日時 2月21日（土）午後7時～
- 場所 三郷公民館講堂
- 申し込み 不要です。会場にお越しください。



あづみ野農業塾 塾生の募集

圃圃農政課集落支援担当
 (TEL 77・3111 代 FAX 77・6060)

- 平成 27 年度の塾生を募集します。農業の活性化や食の安心・安全を目指し、実習を通して無農薬有機栽培の技術を習得します。
- 対象 市内在住で農業を志す人
- 募集人数 80 人（先着順）
- 修業期間 1 年▽座学 実施月のいずれかの土曜日▽実技 随時（土曜または日曜日）

●日程

月	内 容
4 月	無農薬の米作り（その 1）
5 月	野菜栽培の留意点
6 月	花き栽培の留意点
10 月	食べられるキノコの見分け方・庭のキノコ栽培
12 月	花木・樹木のさし木・つぎ木 みそ作り（講義）
1 月	みそ・とうふ作り（実習）
3 月	庭木・花木の手入れ 無農薬の米作り（その 2）

- 年会費 3000 円
- 申し込み 1 月 26 日（月）から 2 月 27 日（金）までに、電話で住所・氏名・年齢・連絡先をお

知らせてください。（平日の午前 8 時 30 分～午後 5 時まで）内容は農業塾塾長の遊橋さん（TEL 73・2058）に問い合わせてください。

あかしな農業塾 塾生の募集

圃圃明科支所地域課
 (TEL 62・3001 代 FAX 62・4747)

- 平成 27 年度の新規塾生を募集します。優れた技術を有する人材の育成と遊休農地の解消を目指します。
- 対象 市内に在住または勤務する 20 歳以上で、農業に取り組む意欲がある人
- 募集人数 30 人（先着順）
- 活動期間 4 月から 1 年間（開校式は 3 月中）実習は毎週水曜日半日（作付け・収穫などの農繁期は変更あり）
- 場所 明科地域内のほ場
- 内容 ▽一般野菜の作付・施肥・防除・収穫・出荷作業▽JA 主催の指導会と講習会への参加▽視察研修
- 年会費 1 万円
- 申し込み 2 月 2 日（月）から 20 日（金）までに電話で住所・氏名・連絡先をお知らせください。（平日の午前 8 時 30 分～午後 5 時まで）

三田体験農場 会員の募集

圃圃農政課集落支援担当
 (TEL 77・3111 代 FAX 77・6060)

- 平成 27 年度の新規会員を募集します。農業者の育成を目的に、JA 営農指導員の指導を受け、野菜の育苗・栽培技術を研修します。
- 対象 市内在住の人
- 募集人数 10 人（先着順）
- 活動期間 2 月下旬から 12 月の主に毎週火曜日（6 月以降は別途連絡）
- 場所 JA あづみ三田支所北のほ場
- 内容 ▽苗の育苗（きゅうり・ナスは接木）種時から出荷まで▽温床線のほり方、播種、接ぎ木など苗の管理▽収穫物の直売所・農協への出荷や加工
- 栽培品目 メロン・たまねぎ苗・赤シソ・落花生
- 年会費 無料
- 申し込み 2 月 28 日（土）までに堀金営農センター（TEL 73・2519）に電話で住所・氏名・連絡先をお知らせください。（平日の午前 8 時 30 分～午後 5 時）内容は体験農場の本郷さん（TEL 73・4716）に問い合わせてください。

第 4 回 安曇野の自然まるわかり観察会／座学講座／

圃圃環境課環境政策係
 (TEL 82・3131 代 FAX 82・6622)

「安曇野の自然を語る」生きもの最前線」をテーマに、リレートーク形式で講座を行います。また、クイズや工作教室も予定しています。

- 内容 ▽ツキノワグマはなぜ里に？▽クマの生態と自然の状況から講義 林秀剛さん（信州ツキノワグマ研究会）▽松枯れ最前線／松枯れの現状と発生要因／講師 松尾衛さん（森倶楽部 21）▽市の自然は豊かなの

か？安曇野の自然環境はどの

ように変わったのか（市版レッドデータブックより）講師 浅川行雄さん（元レッドデータブック作成委員）▽在来種の自然の危機／外来生物の広がりとその影響／講師 小河深美さん（安曇野緑の会）

- 日時 2 月 21 日（土）午後 1 時 30 分～4 時
- 場所 豊科交流学習センター「さばう」学習室 1
- 募集人員 30 人（先着順）
- 参加費 無料
- 申し込み 1 月 21 日（水）から電話でお申し込みください。

給油中、その場を離れないで！！

冬は、暖房器具の使用に伴う灯油の流出事故が多く発生します。灯油などの流出は火災の原因になるばかりか、河川などに流入すると、水道水源の汚染や魚類・農作物などに被害を与える恐れがあり、発生原因者の責任として原状回復の費用等の負担を求められることがあります。

▷給油中は、その場から絶対離れない ▷給油後は、しっかりバルブが閉まったか確認しましょう

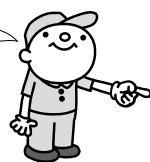
▷ホームタンクや配管を定期的に点検しましょう

灯油を流出させた場合や、流れているのを発見したら大至急、最寄りの消防署や市役所、地方事務所にご連絡ください。

圃圃環境課環境保全係 (TEL 82・3131 代 FAX 82・6622)

松本地方事務所環境課 (TEL 40・1941)

流出事故に備えて、「防油堤」を設置しましょう。



寄附・寄贈のお礼（9/25～11/17）【敬称略】

▷稲葉聡 1 万円 ふるさと寄附▷渡辺清 1 万円 ふるさと寄附▷丸山忠彦 2 万円 ふるさと寄附▷根本真嗣 1 万円 ふるさと寄附▷緒方博文 2 万円 ふるさと寄附▷後呂和男 2 万円 ふるさと寄附▷市川英和 1 万円 ふるさと寄附▷竹士伊知郎 1 万円 ふるさと寄附▷杉田知哉 1 万円 ふるさと寄附▷西沢敏昭 1 万円 ふるさと寄附▷穂高ライオンズクラブ会長 佐野慎朗 10 万円 穂高地域の小・中学校図書購入費として▷赤羽憲治 2 万円 ふるさと寄附▷株式会社エイワ 31 万円 保育園の図書購入費として▷縣和彦 2 万円 ふるさと寄附

第 5 回 地域で共に生きようフェスティバル 実行委員募集

障がい者（主に心の病を持つ人）の皆さんへの理解を深めるためのフェスティバルです（平成 28 年 2 月頃開催予定）。この実行委員を募集しています。第 1 回実行委員会は 2 月 13 日（金）午後 3 時～、穂高健康支援センターで行います。

●申し込み 1 月 21 日（水）～2 月 5 日（木）の間に N P O 法人あづみ野（TEL 88・3955）か福祉課にお申し込みください。

圃圃福祉課障害福祉担当 (TEL 81・0724)